

# 【プログラム13: メッセージ for You ～伝えよう親の気持ち～】

☆ねらい：子どもに伝えたいメッセージを考えることを通して、大人（親）としての姿を考える。

## 《プログラムの概要》

キーワードの例	伝えたいこと
時間	20分
人数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）、全体でもよい
準備物	色カード（何色でもよい、1人1枚、大きさ自由） メッセージカード（1人1枚）
主な活動	①子どもへの願いや自分に似てほしいことを考える。 ②子どもへのメッセージを考える。
気を付けること	○子どもへのメッセージを書くことに抵抗がある参加者には、「メッセージではなく、伝えたい思いをメモする」等の弾力的な扱いが望まれる。
備考 (アレンジ等)	○色カードは、発言者と同じ考えの意思を表し、雰囲気盛り上げるために用いるので、カードでなくても他のものでも代用できるし、2色のカードを使ってもよい。
他プログラムとの関連	なし

【プログラム13：メッセージ for You～伝えよう親の気持ち～】

時間	形態	講座の流れ						
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。 <span style="float: right;">【1分】</span></p> <p>[キーワード] ○伝えたいこと</p>						
17分	グループ	<p>2. 子どもが、どんな性格の人、どんな人柄をもった人に育ててほしいか、話し合う。 <span style="float: right;">【8分】</span></p> <p>①グループで、順番に1つずつ出し合っていく。</p> <p>②言った人と同じ考えの時は、色カードを見せる。</p> <p>③限られた時間内にできるだけたくさん出し合う。</p> <p>例： <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</span></p> <table style="border: none; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">自分の考えをもっている人</td> <td>一生懸命取り組む人</td> </tr> <tr> <td>誰に対しても優しくできる人</td> <td>素直な人</td> </tr> <tr> <td>人に迷惑をかけない人</td> <td>ユーモアがある人 など</td> </tr> </table>	自分の考えをもっている人	一生懸命取り組む人	誰に対しても優しくできる人	素直な人	人に迷惑をかけない人	ユーモアがある人 など
自分の考えをもっている人	一生懸命取り組む人							
誰に対しても優しくできる人	素直な人							
人に迷惑をかけない人	ユーモアがある人 など							
	グループ	<p>3. 自分のどんなところ、どんな部分を真似してほしいか、似てほしいか出し合う。(人柄、性格、仕事など含めて幅広い視点で考える) <span style="float: right;">【6分】</span></p> <p>①グループで、順番に1人ずつ言う。</p> <p>②「なるほど」と思ったときは、色カードを見せる。</p>						
	個人	<p>4. 子どもに伝えたいことを考える。 <span style="float: right;">【3分】</span></p> <p>○子どもに伝えたいメッセージを1つ考え、カードに書く。</p>						
2分	全体	<p>5. まとめ <span style="float: right;">【2分】</span></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>子どもにとって1番身近にいる大人は親である。子どもに「●●となつてほしい」という願いをもつとともに、自分のこんな姿を見てほしいと、子どもに言える大人でありたい。</p> <p>子どもに伝えたい思いは、思っているだけではなく、時には伝えないと子どもには(大人同士でも)伝わらないこともある。</p> </div>						

【メッセージ for You～伝えよう親の気持ち～：メッセージカード】

\_\_\_\_\_ へ

より

《キーワード》

- 伝える    ○愛している    ○あいさつ    ○習慣
- 善いこと悪いこと    ○ありがとう    ○感謝
- がまん    ○命    ○大切    ○家族
- 友だち    ○仲よく    ○食事    ○団らん    ○体験
- 宝    ○手伝い    ○早寝早起き朝ごはん

※メッセージを考えるとき参考にしてください。